

編集後記

『大分県地方史』第一九八号をお届けします。また刊行が遅くなったことを深くお詫びいたします。今号は近世大分地域の医療、災害と危機対策に関する論文二本を掲載しました。内田哲平氏の「近世村社会における村医者の活動——島原藩豊州領の事例について——」は、島原藩分領二万八千石余を事例にして、村医者の多様な機能に着目した好論です。中津蘭学との関連性の追求など今後の展開が期待されます。松川清香氏の「府内藩の災害復興対策について——十九世紀を中心に——」は、豊後府内藩領の地震、風水害に対する藩の対応を、先哲史料館所蔵の府内藩日記を主に利用して検討したものです。くしくも、生活に突然発生する危機への領主的対応と民衆的対応という、共通する問題を含む二つの論文で構成することができました。なお松川氏の論文は平成十六年度に別府大学へ提出した卒業論文が基礎になっており、松川氏は現在図書館の仕事をされています。当会誌が若い人材の発表の機会となることは、今後の地域史を支えてゆくには重要なことではないでしょうか。

(針谷武志)

平成十九(二〇〇七)年二月二二日 印刷
平成十九(二〇〇七)年二月二八日 発行

大分県地方史 第一九八号

編集者 針谷武志

発行者 豊田寛三

印刷者 廣永晴巳

印刷所 有限会社舞鶴孔版

〒八七〇一〇〇三二

大分市大手町二丁目三十四

(☎〇九七―五三一―四三三)

発行所

〒八七〇一―二二四

大分市旦ノ原七〇〇

大分大学教育福祉科学部国史研究室内

大分県地方史研究会

(振替・〇一五八〇―二一五二九四)

事務局 大分県立先哲史料館

〒八七〇一〇八一四

大分市大字駄原五八七―一

(☎〇九七―五四六―九三三八〇)